

第 39 回「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」 議事録概要

◇日時：2022 年 11 月 15 日（火）10:00-11:20

◇場所：Webex 会議

◇出席者（敬称略）：

（委員長）宮野

（副委員長）関村（欠席：岡本）

（幹事）浅沼、鈴木、柳原、吉見

（欠席：阿部、高田(孝)、高田(毅)、早瀬、藤田)

（委員）石田、山内、出光、高木、越塚、瀧口、佐々木、奈良林、竹田、成宮

安部、川原、矢板、江藤、中野、可児（運営タスク）

（欠席：安部田、内田、小西、大隅、加治、渡邊、山本）

（オブザーバー）堤、中村（エネ庁）、中村（NDF）、今村（IRID）、

長谷部（化学工学会）、川村（学会会長）、新堀（学会副会長）、

後藤、山岡(学会理事)、田中（学会元副会長）、富田（学会事務局）

◇議事

0. 委員長挨拶

宮野委員長より開会挨拶があった。

1. 前回第 38 回廃炉検討委員会議事録および議事概要の確認

前回第 38 回廃炉検討委員会議事録案および議事概要案を確認した。

2. 廃炉委の運営

(1)委員リスト

廃炉委 委員リストを確認した。

(2)分科会委員リスト

廃炉リスク評価分科会、強度基準検討分科会に一部更新があったことが紹介された。

(3)廃炉貢献賞募集結果

募集結果について報告があり、今後の進め方として、募集細則に従って評価表をまとめ、表彰 WG にて整理して推薦小委員会にて審議し、廃炉委で審議、理事会に報告後、廃炉委で表彰する計画であることが説明された。また、来年度以降の取り組みとして、応募数を増やすために、年齢制限の再考、募集の展開範囲の見直しなど、表彰 WG で議論する予定であることが説明された。

(4)次年度廃炉委予算

廃炉委の次年度予算案の検討方針について説明があった。

3. シンポジウム等報告・計画

(1)春の廃炉委企画セッション計画

春の年会では、分科会活動の報告をベースとし、「建屋構造物の健全性とリスク評価」というセッションテーマを設定して 3 分科会より報告いただく構成としたことが説明された。

(2)FDR2022 報告

170 名を超える参加者があり、プレナリーで 3 件の講演、テクニカルセッションでは 5

トラック 77 件の発表があり、各トラックでパネル討論を開催した点が特徴であったことが報告された。今後、**Selected paper** の選出、学会誌に報告記事投稿、**Extended abstract** の J-Stage 公開などを予定していることが説明された。

4. 分科会の活動状況

建屋の構造性能検討分科会、ロボット分科会、廃棄物検討分科会、廃棄物検討分科会タスクチーム、廃炉リスク評価分科会、強度基準検討分科会より活動状況の報告があった。

5. その他

(1) 次回以降の議論について

次回およびそれ以降の廃炉委における議論内容について、委員長と副委員長からコメントがあった。

(2) 次回の日程

・2023 年 2 月 21 日(火) 16:00-18:00 とする。

以上